

《パリテまつり講演会の報告》

家族の未来をみつめて～カウンセリングの現場から～



講師

信田さよ子さん(のぶたさよこ)
原宿カウンセリングセンター所長
東京臨床心理士会理事



著書

『母が重くてたまらない/墓守娘の嘆き』
『夫婦の関係を見て子は育つ』
『DVと虐待 家族の暴力に援助者ができること』

2月8日、日曜日の午後、今話題になっている本『母が重くてたまらない—墓守娘の嘆き』の著者の講演とあって、住吉会館4階の大広間は、120人余の参加者でぎっしり埋まりました。低い演台のおかげで講師との距離も近く「もう私、アラ還ですよ。」(アラフォーの転用で60歳前後の事)などユーモアも真心もある語り口に魅了され、2時間はアツという間でした。

参加者の感想を一部ご紹介します(紙面の都合上一部抜粋)

- ・今日の講演会は素晴らしかったです。昨年の上野千鶴子さんといい今回の信田さんといい西東京のチョイスは素晴らしい！的確だと感心しました。西東京市に越してきてよかった。(30代女性)
- ・自分がDVだと気がついた。(30代男性)
- ・すごく勉強になりました。今後夫婦生活に役立てたい。(30代男性)
- ・何だか分からない息苦しさを言葉にいただいた感じです。以下略(40代女性)
- ・涙が出るほど感激しました。明日から又元気に生きられます。(60代男性)
- ・夫と参加しました。有意義でした。よくぞ信田さんと呼んでくださいました。(40代女性)
- ・自分自身が強者であることを意識化しなければ、いつでも加害者になる危険を感じました。(40代女性)
- ・何歳になっても母と子である以上、悩みは尽きないと思いました。(50代女性)
- ・DV男性加害者のための講演会を希望します。それが女性の為になる。(50代男性)

西東京市男女平等情報誌
「パリテ第2号」は3月24日発行です

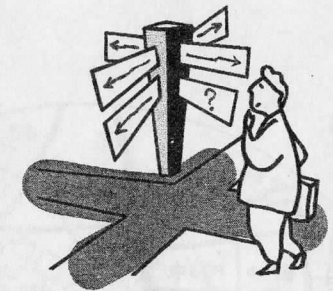
創刊号に引き続き

ワーク・ライフ・バランス の特集です

今回は、欧米の取り組みの紹介や、市内にある企業の社員座談会をお伝えして
しています。生きた情報をヒントにして、仕事と生活のバランスのとれた生き方を探っ
てみませんか

このほか『男の料理指南』『おすすめの本』『改正パートタイム労働法』『第1回パ
リテまつりの報告』を掲載しています。

※西東京市男女平等情報誌『パリテ』は、
年2回発行しています。
『パリテ』は、市役所、各図書館・公民
館など公共施設で配布しています。



貴方の好感度をアップするカラーコーディネート2回講座

カラーコーディネートで かがやく私に

市報3月1日号で募集した講座は、3月2日(月)9時から
参加申込みを受け付けましたが、開始後50分で定員に
達してしまいました。

参加をご希望されていた方には大変ご迷惑をおかけし
ました。

ぜひ次回の企画にご期待ください。

